

第6学年国語科学習指導案

日時 平成17年 9月 8日(木) 6校時
場所 教室(6年1組)
児童 6年1組 男18名 女17名 計35名
指導者 千葉 郁男

- 1 単元名 共に考えるために伝えよう
教材名 みんなでつくる学校

2 単元設定の理由

(1) 児童観

6年1組の子どもたちは、全体的にとても素直であり、指示されたことを指示通りしっかりやろうとする姿勢が見られる。いろいろな活動に対して意欲的に集中して取り組む姿勢も見られる。書く時間であれば書くことに集中して取り組み、考える時間であれば真剣に自分の考えをまとめようとし、話し合う時間や考えを発表する時間であれば自分の意見や考えを積極的に話し、相手の意見を受け止め、自分の考えをさらに深めようとする姿が日常的に見られる。

「話すこと」については、「学級討論会をしよう」という単元で、自分の立場を明らかにして、説得力のある内容と組立てを考え主張する力、肯定派・否定派の主張を聞いて自分の考えを深め主張する力を身につけている。日常的には、朝の会での「1分間スピーチ」に継続的に取り組むことで、自分の話したい内容を効果的に伝えるためにいろいろな工夫をしながら堂々と発表できる子どもたちが増えている。事前テストの結果を見ても、はじめ・中・終わりを意識して自分の伝えたいことを組立てて話すことができる子どもたちになっている。ただし、その内容を詳しく見ると、自分の伝えたい内容をより分かりやすく組立てたり、具体例を入れたり、根拠を明らかにして話したりすることがまだ確実には身につけていない。

「聞くこと」については、相手の目を見て話を聞くことができない子どもたちであったが、現在ではほとんどの子どもたちが相手の目を見て受容的に話を聞くことができるようになってきている。これまでの学習を通して、相手の伝えたいことを聞き取る力がある程度ついてきている。ただし、その聞き取る力は十分とは言えず、相手の話を聞いて相手の意図を理解したり、相手の話を聞いてより詳しく聞きたいところを見つけ質問したりする力がまだ弱い。

「書くこと」については、伝えたい思いや考えを持ち、その考えをもとに、はじめ・中・終わりを意識して書くように指導してきた。これは5年生の「体験したことを分かりやすく伝えよう」という単元で学習したことであり、日常的には日記を書くときに意識させている。6年生になってからは、「ガイドブックを作ろう」という単元で修学旅行ガイドブックを作り、伝える内容を整理しまとめる力とレイアウトを工夫して表現する力をつけることができた。書くことに対して抵抗感が少なく意欲的に書こうとする子どもたちにはなっているが、自分の思いを伝えるための効果的な表現方法が十分に身につけているとは言えない。

(2) 教材観

本単元の主な指導内容は、「話すこと」では、調べた情報をもとに組立てを考え、具体例を入れて、資料を示しながら聞き手の反応を見て自分の提案を分かりやすく話すこと、「聞くこと」では、みんなの提案を聞き疑問点を明らかにすることとその提案をよりよくするために自分の意見を伝えること、「書くこと」では、みんなからの意見を取り入れ自分の提案を修正し、さらに分かりやすくするために文章全体の組立てを考え、調べた事実と自分の意見を区別しながら提案文書を書くことである。

本教材では、「ユニバーサルデザイン」「自分たちの生活をよりよいものに」という考えから、最高学年としてこれまでの活動や学校生活を振り返り、自分たちの学校をよりよい学校にする提案を行う。「さらにすばらしい学校にしたい」と思うことは最高学年として当然の思いであり、その思いがあるからこそこの活動に意欲的に取り組むことができる。意欲的にこの活動に取り組むことで子どもたちは本単元で目標とする「話すこと・聞くこと」そして「書くこと」の力を確実に身につけることができる。また、「これからの学校がどうあるべきか」ということを真剣に考えいろいろな提案をすることにより、最高学年として委員会活動や行事の中心として先頭に立って活動してきた6年生の最高学年としての自覚をこれまで以上に高めることができる。よりよい学校にするためにいろいろな提案をすることにより、母校への愛校心がさらに強くなり、自分たちの提案で学校がさらによくなったという実感を持つことができる。以上のことから、本教材は有効な教材であると考えられる。

(3) 指導観

「話すこと・聞くこと」「書くこと」の言語活動への関心・意欲・態度を高め、指導と評価の一体化を図り、本単元のねらいに迫るために、以下のことを指導の手立てとして位置づけた。

関心を喚起するために

- ・ 最高学年としてよりよい学校をつくるという目的意識を明確に持たせる。
- ・ 具体的提案を全校に、特に5年生、4年生、先生方に行うという相手意識を明確に持たせる。
- ・ 単元全体の学習活動（提案内容を考える 調べる 学級に提案する 提案に意見を出す 学級の意見を取り入れ 提案文書を作る 全校に提案する）の流れを知らせ、学習の見通しを持たせる。

意欲を持続するために

- ・ 提案のポイント を具体的に示し、そのポイントを常に意識し活動させる。
- ・ 調べ学習の際には、提案内容が似ている子どもたちでグループを作り、これまで学習してきた調査方法からふさわしい方法を選ばせる。
- ・ 参考資料を準備し、その参考資料をもとに発表原稿を作らせる。
- ・ 原稿作り、発表練習そして話し合いの際には、提案内容と発表技術の優れた点を教師が認め、さらに子どもたち同士で認め合うようにさせる。

態度を育成するために

- ・ 提案のポイント を具体的に示し、そのポイントを常に意識し活動させる。
- ・ 参考資料を準備し、その参考資料をもとに提案文書を作らせる。
- ・ 提案文書を学級内で交流することにより、提案内容と記述の仕方の優れた点を教師が認め、さらに子どもたち同士で認め合うようにさせる。
- ・ でき上がった提案文書を校舎内に掲示したり、5年生、4年生、先生方に配布したりすることにより、達成感や成就感を持たせる。
- ・ 全校に提案したあと、その全校の反応を受けて、児童総会の場で提案するもの、先生方に提案するもの、6年生としてできることに分け、さらに具体的に行動するという今後の見通しを持たせる。

指導と評価の一体化を図るために

- ・ 毎時間の具体的評価規準をもとに、優れた活動を全体で称賛し、具体的参考例として全体に広める。
- ・ 学習プリントや原稿などに目を通し、優れている点を評価し足りない部分を具体的に支援する。
- ・ 具体的評価規準をもとに、達成できている部分と達成できていない部分を把握し、次時以降の補充指導や指導の工夫に生かす。

3 単元の指導目標

「多くの人が使えるように」をきっかけに学校生活を見直し、よりよい学校にするために調べたことを交流して深まった考えをまとめ、これからの学校生活に生かそうとする。

4 単元の評価規準(B)

ア 国語への関心・意欲・態度	関心	学校生活を振り返り、よりよい学校生活にしていくことに興味を持ち、よりよい学校にするための提案を考えようとしている。	
	意欲	情報を進んで集め、その情報をもとに分かりやすい提案をしようとしている。友だちの提案をよりよくするための質問や意見を出そうとしている。	
	態度	話し合いで深まった考えを分かりやすく提案文書に書き、具体的な提案を全校に向けて発信しようとしている。	
イ 話す・聞く能力	構成要素	1	自分の提案したい内容を考え、提案内容を具体的に調べることができる調査方法を選び詳しく調べている。
		2	調べたことを具体例や根拠として取り入れ、話の組立てや資料提示の仕方を工夫して提案している。
		3	友だちの提案を聞き、疑問点を明らかにしたり、その友だちの提案がよりよくなるような意見を話したりしている。
ウ 書く能力		文章の組立てを工夫したり、事実と意見を区別したりして、話し合いによって深まった自分の考えを提案文書に書いている。	
エ 言語についての知識・理解・技能		提案の話し方と提案文書の構成の仕方を理解している。	

5 単元の指導計画（話す・聞く 10時間 書く 4時間 計 14時間）

時間	主な学習活動	具体的評価規準（B）と【評価方法】	指導の手立て
第一次	第1時 教材文を読み、学習の見通しを持つ。	ア - 「自分たちの暮らしをよりよいものにする」「よりよい学校にする」という考えを理解し、これからの活動への意欲を持つようとしている。 【活動の観察】 【学習プリントの記述の把握】	・ 「自分たちの生活をよりよくする」という意味と「ユニバーサルデザイン」という考えを具体的に考えさせる。 ・ 最終目標や、目的意識と相手意識を確認させる。
	第2時 学校をよりよくするための提案を決める。	ア - みんなで考えたものを参考にしながら自分の提案を考えようとしている。 【活動の観察】 【学習プリントの記述の把握】 イ - 目的にふさわしい自分の提案を決めている。 【活動の観察】 【学習プリントの記述の把握】	・ 目的意識を明確に持ち、個人でイメージマップを作り、それをもとに学級全体でイメージマップを作ること考えを交流させる。 ・ みんなで考えたものを参考にしながら自分の提案を考えさせる。
第二次	第3時 自分の提案を具体的にするための調べ学習の計画を立てる。	イ - 提案をより具体的にするために、その提案に有効な調査方法を選び、調べ学習の計画を立てている。 【活動の観察】 【学習プリントの記述の把握】	・ 提案のポイント を具体的に理解させる。 ・ 提案内容が似ている子どもを同じグループにする。グループの中に活動の中心となる子どもを配置する。 ・ 調べる方法を具体的に紹介して選ぶ際の参考にさせる。
	第4時 調べ学習の計画に従い調べ学習の準備をする。	ア - 自分の提案に必要な情報を集めるために、提案に応じた調べ学習の準備をしようとしている。【活動の観察】 【学習プリントの記述の把握】	・ どんな情報が必要なのか、どのようにして情報を引き出すのかを自分の提案をもとに考えさせる。 ・ 調べ学習のよりよい方法を詳しく紹介し参考にさせる。
	第5時 実際に調べ情報を集める。	イ - 調べ学習の計画に従って、自分の提案に必要な情報を集めている。 【活動の観察】 【学習プリントの記述の把握】	・ 前時に考えた計画や内容に無理や無駄がないかどうか確認し、よりよい学習になるように具体的に指示を出す。 ・ 調べ学習の様子を見て必要な情報を集めることができるように具体的に支援する。
第三次	第6時 情報をもとに自分の考えをまとめ、発表の準備をする。	イ - 調べたことを具体例や根拠として取り入れ、話の組立てを考えた発表原稿を作っている。 【活動の観察】 【発表原稿とメモの記述の把握】 エ - 提案の話の組立て方を理解している。 【発表原稿の記述の把握】	・ 発表原稿の資料の具体例を何種類か提示し、それを参考にしながら発表原稿を作らせる。 ・ 提案のポイント を確認し発表原稿を作らせる。 ・ 発表原稿の資料を数種類準備し説明する。
	第7時 提案の発表練習をする。	ア - 話し方についてアドバイスをしようとしている。 【活動の観察】 【学習プリントの記述の把握】 イ - 資料を見せるタイミングを考え、聞く人の様子確かめながら話している。 【活動の観察】 【学習プリントの記述の把握】	・ 提案のポイント を確かめてから練習させる。 ・ 3人組で練習することで練習回数を確保する。 ・ すぐれた発表を紹介し、具体的にそのよさを全体の場で確認して発表練習に生かす。

第三次	第8時	1回目の意見交換会を行う。 (本時)	ア - 友だちのアドバイスを取り入れ 分かりやすい提案をしようとしている。 友だちの提案がよりよくなるように 質問や意見を考えようとしている。 【活動の観察とビデオでの記録】 【学習プリントの記述把握】	<ul style="list-style-type: none"> 練習の時のよさを思い出し、アドバイスを 受けて改善したことを確認して自信を持たせる。 全体の話し合いの前に小グループの話し 合いを入れることにより話しやすい雰 囲気を作る。
	第9時	2回目の意見交換会を行う。	イ - 提案の内容を、具体例を入れ、 根拠を明らかにし、資料を見せるタイ ミングを考え、聞く人の様子確かめ ながら話している。 【活動の観察とビデオでの記録】	<ul style="list-style-type: none"> 第7時の練習を生かして提案発表 をする。提案している途中に発表が 途切れたりする場合には具体的に 支援する。
	第10時	3回目の意見交換会を行う。	イ - 友だちの提案を聞いて、疑問点 を明らかにしたり、その提案がさら によくなるような意見を話したりして いる。【活動の観察とビデオでの記録】 【学習プリントの記述の把握】	<ul style="list-style-type: none"> 提案内容の概要を事前に全体に知 らせて、疑問点や意見を事前に考え させる。全体で話し合う前に小グル ープで話し合うことで、さらにより よい考えを持てるようにする。
第四次	第11時	提案文書の書き方を知り、意見交換会の結果をもとに自分の考えをまとめる。	ア - 提案文書の書き方を知り、これ からの活動の見通しを持つようとして いる。【活動の観察】 【学習プリントの記述の把握】 エ - 提案文書の構成の仕方を理解し ている。【活動の観察】 【提案文書の記述】	<ul style="list-style-type: none"> 参考になる資料を準備し、提案文書 の具体像をつかませる。これからの 活動の見通しを具体的に伝える。 参考資料をもとに詳しい書き方をつ かませる。評価は次時以降の提案 文書を見て行う。
	第12時	提案文書を書く。	ウ - 文章の組立てを考え、事実と意 見を分けて、話し合いによって深ま った自分の考えを提案文書に書いて いる。【提案文書の記述】 【活動の観察】	<ul style="list-style-type: none"> 提案のポイントの提案を簡潔に 一文にまとめること、前書きを考 えること、提案理由を考えることを 確認し、参考例をもとにして書か せる。 優れた提案文書を紹介し、そのよ さを全体に広める。
	第13時	提案文書を読み合い、アドバイスをする。	ア - 友だちの提案文書を読みよい 点とアドバイスを伝えようとして いる。【活動の観察】 【学習プリントの記述の把握】	<ul style="list-style-type: none"> 友だちの提案のよいところを伝え 自信につなげる。 実際の提案文書と参考資料を比較 しながら足りない部分をアドバイ スさせる。 優れた提案文書のよさと優れたア ドバイスのよさを全体に広める。
	第14時	アドバイスをもとに、よりよい提案になるよう加筆修正する。	ア - これからの具体的行動を理解 し、今後の活動への意欲を持つよう としている。【活動の観察】 【学習プリントの記述の把握】 ウ - 友だちのアドバイスを取り入れ 提案文書を修正している。 【提案文書の記述】	<ul style="list-style-type: none"> これからの取り組みを分かりやす く説明して見通しを持たせる。 この活動で成長した力を個人と全 体で確認する。 よいアドバイスとそのアドバイス によって変わったよい提案の書き 方を全体で紹介する。

6 本時の指導

(1) ねらい

自分の提案を、内容を工夫し、資料を効果的に使い、相手の表情を見ながら分かりやすく伝えることができる。提案を聞いて疑問点を明らかにしたり、その提案をより分かりやすくするための意見を出したりすることができる。

(2) 展開

段階	学習内容と学習活動	・指導上の工夫と評価
導入 3分	1. 活動の流れを確認する。 最終目標：最強の二小！ 相手意識：全校に！（学級に！） 目的意識：よりよい学校を作る！ 2. 学習課題をつかむ。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「最強の二小」を目指し、最高学年としてよりすばらしい学校を目指しているいろいろな提案をするために取り組んでいることを確認し意欲を高める。 ・ 役割ごとに自分の課題を具体的につかむ。具体的につかむことができるようにそれぞれの言葉の意味を確認する。 <p>提案をさらにパワーアップしよう！ 提案者：分かりやすく提案しよう！ 質問に答えよう！ 意見を聞こう！ 聞く側：提案を受け止めよう！ 分からないところは質問しよう！ よりすごい提案になるように意見を出そう！ 司 会：話し合いを分かりやすく進めよう！</p>
展開 32分	3. 本時の流れを確認する。 提案する。 その提案を聞いて質問と意見を考える。 質問する。質問に答える。 意見を出し合う。 から を提案者分繰り返す。 まとめる。 4. 話し合いを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 話し合いの流れとそれぞれの活動を確認する。立場によって活動の内容が違うので、自分が今日の授業で何をしたらよいのか板書を使って確認する。実際に話し合いに入った後も黒板を見れば何をすればよいのかすぐ分かるようにしておく。 ・ 提案については、発表技術そのものもよさとして認めたいが、内容面についてのよさにも必ず触れることができるようにする。 ・ 話し合いに入りその時々で支援が必要な場合は、提案や話し合いを止めて指示を入れる。 ・ よい提案があった場合にはそのよさを話し合いの中で子どもたちから具体的に言わせるが、もし出なかった時は教師側から伝える。 ・ 質問や意見についてはその場で聞くだけではなかなか考えることが難しいので、事前に発表者の提案の概要を伝え考えておくようにさせる。 ・ 司会者の進行の中で意見を出し合う場面が難しいので、司会者に常に具体的にアドバイスをする。どうしてよいかわからなくなった時は教師が進める。 <p>評価ア - 評価イ - 評価イ -</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 提案者の提案内容のよさを具体的に話し、全体に広める。 ・ 質問や意見の出し方でよかったものを紹介して全体に広める。
まとめ 10分	6. 話し合いを振り返る。 7. 感想を書く。 8. 次の予告をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ それぞれのめあてから考えて自分の今日の活動がどうだったのか具体的に振り返る。司会として、提案者として、話し合い参加者として振り返る。 ・ 提案者にはどんな意見が出たのかも一度確認して役立つ意見を見つけるようにさせる。 ・ 本時を振り返り感想を書く。その感想で優れたものを紹介する。発表者側から1名、話し合い参加者側から1名紹介して本時での成長を全体で共有する。 ・ 次の時間からは、この話し合いの意見をもとにして全校への提案文書を作るという活動に入ることを伝える。

(3) 評価と支援

【観点】	【具体的評価規準】	【評価に応じた支援】
ア -	A 友だちのアドバイスを取り入れ分かりやすい提案をしようとしている。友だちの提案がよりよくなるように具体的な内容を挙げて質問や意見を考えようとしている。 B 友だちのアドバイスを取り入れ分かりやすい提案をしようとしている。友だちの提案がよりよくなるように質問や意見を考えようとしている。	A 優れた点を具体的に挙げて評価し称賛する。 C アドバイスを確認して事前に発表練習をする。提案の概要を見て事前に考えた自分の質問と意見を確認する。 友だちとの話し合いでよい質問や意見を取り入れる。
イ -	A 提案の内容を、出だしを工夫し、具体例を入れ、根拠明らかにし、結論が分かるように、資料を見せるタイミングを考え、聞く人の様子確かめながら話している。 B 提案の内容を、具体例を入れ、根拠を明らかにし、資料を見せるタイミングを考え、聞く人の様子確かめながら話している。	A 優れた点を具体的に挙げて評価し称賛する。 C 練習の際に受けたアドバイスをもとに内容と発表内容を事前に改善する。 提案発表途中で発表が途切れる場合には具体的に支援する。
イ -	A 友だちの提案を聞いて、疑問点を明らかにしたり、その提案がよりよくなる意見を具体例を挙げて話したりしている。 B 友だちの提案を聞いて、疑問点を明らかにしたり、その提案がさらによくなるような意見を話したりしている。	A 優れた点を具体的に挙げて評価し称賛する。 C 提案の概略を見て事前に考えた自分の質問と意見を確認する。 友だちと話し合うことで自分の質問と意見の参考にする。

(4) 板書計画

から を提案者分 繰り返す	ま と め る	意 見 交 流	対 話 す る	質 問 す る	対 話 す る	提 案 す る	流 れ	提 案 者	聞 く 側
	メモする	答える・メモ	振り返る	答える・メモ	振り返る	提案する			
	メモする	意見・メモ	話し合う	質問・メモ	話し合う	聞く・メモ			

話し合いの流れ

最終目標 最強の二小！
 伝える相手 全校に！（学級に！）
 目的 さらによりよい学校にするために！
 課題 提案をさらにパワーアップしよう！

提案者 分かりやすく提案しよう！
 質問に答えよう！
 意見を聞こう！

聞く側 提案を受け止めよう！
 分からないところは質問しよう！
 よりすごい提案になるように意見を出そう！

司会 話し合いを分かりやすく進めよう！

みんなでつくる学校